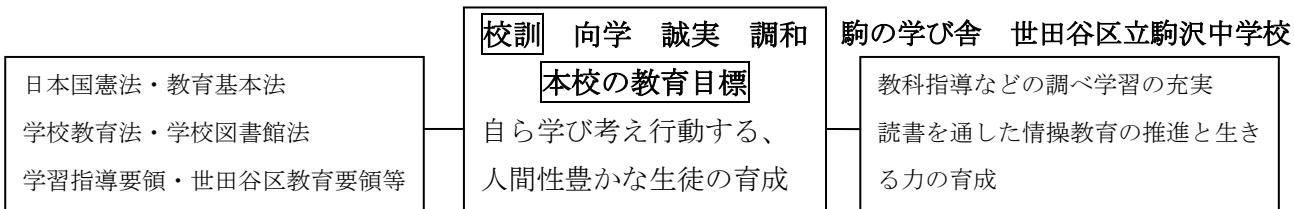


平成24年度 学校図書館運営全体計画



生徒の現状	学校図書館の機能と目的	図書館の現状
○朝読書に、積極的に取り組んでいる。 ○自ら課題を見つけ、意欲的に図書室を利用するように来館者を増やしたい。	◎学校における資料センター、情報センターとしての機能を果たす。 ◎自ら学び解決していく意欲を育てる学習センターとしての機能を果たす。 ◎調べ学習を通して課題解決能力を育成する。 ◎読書を通して言葉の理解力、コミュニケーションの能力を育成する。 ◎生徒の心のオアシス（居場所）としての機能を果たす。	○生徒用の図書の充実をさらに図る。 ○新しく購入する図書と、古くなった図書との適切な交換を行っている。
学校図書館の重点目標		
1 蔵書の充実を図る。 2 パソコンを含めた利用指導の充実に努める。 3 図書委員会、図書紹介を活性化する。 4 適切な資料の提供に努める。		
生徒に身に付けさせたい能力		
1 読解力 2 豊かな語彙、言葉遣い 3 思考力、判断力、課題解決能力 4 生涯を通じて読書に親しむ習慣 5 豊かな感性・情操 6 メディアリテラシー		

具体的な指導事項	管理運営面	利用指導面	読書指導面	その他
	○公共図書館の購入した図書や新聞等の書評、生徒や教員の希望を参考にして、常に良書の購入を心がけ、蔵書の充実と適切な除籍を行う。 ○図書委員会を活性化させ、広報活動などを進め、学校図書館の機能を充実させる。 ○データベース化に伴い、蔵書の管理と運営を確実に行う。	○学校図書館司書教諭と図書館司書が協力して、図書館メディアの配架や展示を工夫する。 ○パソコンは図書と同時に調べ学習用として利用させ、メディアリテラシーの向上を図る。 ○各教科で図書室の資料を利用する機会を多くし、図書やパソコンの活用を進める。 ○修学旅行や職業調べなどの特別活動、総合的な学習の時間や教科「日本語」の授業等に役立ちそうな図書をそろえ、活発に利用できるように助言を行う。	○適切に図書の紹介を行い、レファレンス機能の充実も図る。 ○生徒の自由読書や発展的な読書を勧め、環境を整備する。 ○各授業の単元の教材や校外学習に向けて適切な図書を整備し、利用できる図書の紹介に努める。	